

アンケート調査設問内容の検討について

1 調査概要

(1) 調査の目的

次期静岡市障がい者共生のまちづくり計画を策定するに当たり、障がいのある人の日常生活の実態把握や意見を伺うとともに、障がい施策に対する意識を把握するため。

(2) 調査対象者及び人数

- ① 市内にお住まいの障がいのある人 約5,000人
 - ア 身体障がい者（身体障害者手帳の所持者）
 - イ 知的障がい者（療育手帳の所持者）
 - ウ 精神障がい者（精神障害者保健福祉手帳の所持者）
 - エ 難病（特定医療費（指定難病）受給者証の所持者）
 - オ 発達障がい児（者）
 - カ 重症心身障がい児（者）（「肢体不自由1級又は2級の身体障害者手帳」及び「療育手帳A」を併せ持った児（者）である。

- ② 市内にお住まいの18歳以上の障がいのない人 約3,000人

(3) 調査時期及び方法

令和4年11月上旬から令和4年12月末頃まで（予定） 郵送調査

(4) 基本的な考え方

- ① 前回のアンケート調査の結果と比較するため、前回の項目を基に今回の設問内容を検討する。
- ② 市の課題等に関して新たに調査が必要な内容について、新規に設問を追加する。
- ③ 回答者の負担軽減のため、障がいのある人へのアンケート調査の設問のうち、有効に活用できていない設問を可能な範囲で削減する。

（参考：平成26年度：46問 平成28年度：43問 令和元年度：47問 令和4年度：52問）

2 アンケート設問の主な修正点 ※資料5-1、6-1の対応ページを併記

(1) 共通

- ① 令和元年度から当市で配布を開始した「ヘルプカード」について、周知状況等を把握するための設問を追加。 …P14/P6
- ② 第3次静岡市総合計画の指標としても活用している「地域における共生が進んでいると思う人の割合」を把握するための設問について、「共生」がどういった状況かイメージしづらいという懸念を踏まえ、例示を含む設問を追加。 …P25/P7

(2) 障がいのある人用アンケート

- ① 発達障がいの早期発見・早期支援による効果を把握するため、発達障がいの診断を受けた時期及び関連した支援を受け始めた時期を問う設問を追加。 …P5
- ② 介助者・支援者の困りごとに関する設問について、ヤングケアラーや8050問題といった全国的な課題を踏まえた選択肢に修正。 …P9
- ③ 就労に関する新規事業の検討にあたって、本人の適正にあった就労ができているのかを把握するための設問を追加。 …P34
- ④ かかりつけ歯科医を持つ仕組みの整備に反映させるため、障がいのある人のかかりつけ歯科医に関する現状を把握するための設問を追加。 …P36
- ⑤ 東京2020パラリンピックを契機に、地域における障がい者のスポーツ参画に対する関心が高まっていること等から、スポーツに関する設問を追加。また、国の調査において障がいのある人はスポーツをしていない割合が高いことが分かっているため、市内でも同様の状況であるか把握するため、スポーツをする頻度については深掘りをする。 …P41

(3) 障がいのない人用アンケート

- ① 令和元年度の調査において、障がいのある人と関わりのある人は「共生が進んでいる」と思う割合が高いという結果となった。障がいのある人との関わりによる心情の変化を問う設問を追加し、より詳細な実態の把握を行う。 …P4
- ② 障がいのある人への差別に関する設問について、ネガティブな具体例が示されていることにより差別を助長してしまうおそれがあることから、設問を削除する。 …P16~17

具体的な修正内容は資料5-1、6-1に新旧対照表形式にて記載。